

取扱説明書・取付説明書は必ずお客様に渡してください。

東芝天井埋込形ビルトインタイプ用 気化式加湿器 取付説明書

TCB-HS281B・HS501B・HS801B・HS1401B

取付に際しましては、この説明書をよく読み正しい取付が行われますようお願いいたします。

基本的な注意事項

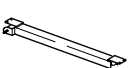
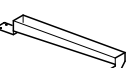




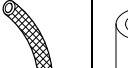
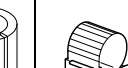

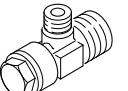
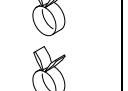
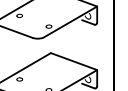
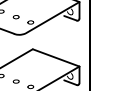
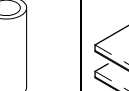
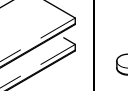
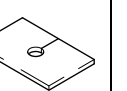

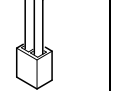
- 加湿器の取付け工事は、必ずエアコン本体を据付ける前に行ってください。加湿器組み込み後の輸送はしないでください。
- ヒューミディスタット〔23HU〕（現地手配）は、湿度低下で接点が閉となる形式で接点容量200VA以上の物を準備してください。
- 加湿器給水配管側、電装部側の天井面に $\varnothing 450$ 以上の点検口を設置してください。
- 供給水は水道法水質基準に準ずる飲料水を使用してください。保守管理のため現地手配の給水配管には、各加湿器ごとに給水ストレーナ（付属）・給水用サービスバルブ（現地手配）を設けてください。
- 給水は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン〔型式認可品〕（現地手配）をご使用ください。
- 現地手配の給水配管にフラッシングバルブの取付をおすすめします。冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない時は、給水配管内の水が腐ってしまいます。その水が加湿（暖房）シーズン開始時に加湿器に給水されますと匂いの発生・菌の繁殖の原因になります。加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、フラッシングバルブと給水用サービスバルブを開き、配管内を新しい水に置換えてから使用してください。
- 使用給水圧力は0.05～0.5MPa・水温は5～30℃です。この範囲内でご使用ください。
- 加湿（暖房）シーズン後は、給水用サービスバルブを必ず閉めて下さい。
- 通気に腐食性ガス・塩分・オイルミストを含まないようにしてください。
- シーズンイン時には、給水ストレーナの清掃を行ってください。
- 現地手配の給水配管にも断熱処理を行ってください（断熱材現地手配）。給水配管内の水が凍結した場合、水の体積膨張により配管や接続部を破壊し、漏水の原因となります。

〔仕様〕

機 種 名		TCB-HS281B	TCB-HS501B		TCB-HS801B	TCB-HS1401B
電 源		単相200V 50／60Hz				
適合室内ユニット 形名 ●■は適合室内ユニットの シリーズNo. をあらわします ●：2、5シリーズ ■：1、3、4シリーズ	店舗用 A1D-		AP40●BH（-1） AP45●BH（-1）	AP50●BH（-1） AP56●BH（-1） AP63●BH（-1）	AP71●BH（-1） AP80●BH（-1）	AP112●BH（-1） AP140●BH（-1） AP160●BH（-1）
	マルチ用 MMD-	AP22■BH AP28■BH	AP45■BH	AP56■BH	AP71■BH AP80■BH	AP112■BH
		AP36■BH			AP90■BH	AP140■BH AP160■BH
周 囲 温 湿 度		加湿器本体：5℃～60℃ 90%RH以下 リレーボックス：5℃～40℃ 80%RH以下				

部品構成

下記の部品で構成されておりますのでお確かめください。

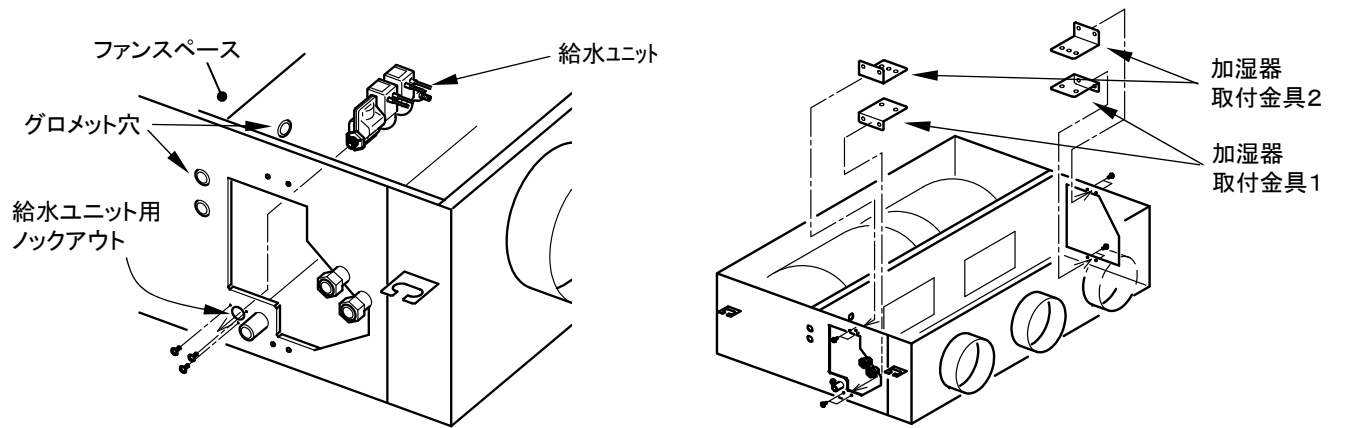
説明書類	上部ガイド	ドレンガイド	加湿モジュール	給水ユニット	リレーボックス	給水軟銅管	給水ホース	保護材	クランプ
本書 取扱説明書 注意書 取付前の注意									
給水ストレーナ	ホースバンド	加湿器取付金具1	加湿器取付金具2	排水ホース	リングナット用断熱材	ストレーナ用断熱材	電源接続コード	短絡コネクタ	
									

その他に閉端接続子×2ヶ、固定バンド×2ヶ、ビス類（トラス $\varnothing 4$ タッピング×3ヶ、トラスM4×16ヶ、バインドM3×3ヶ）

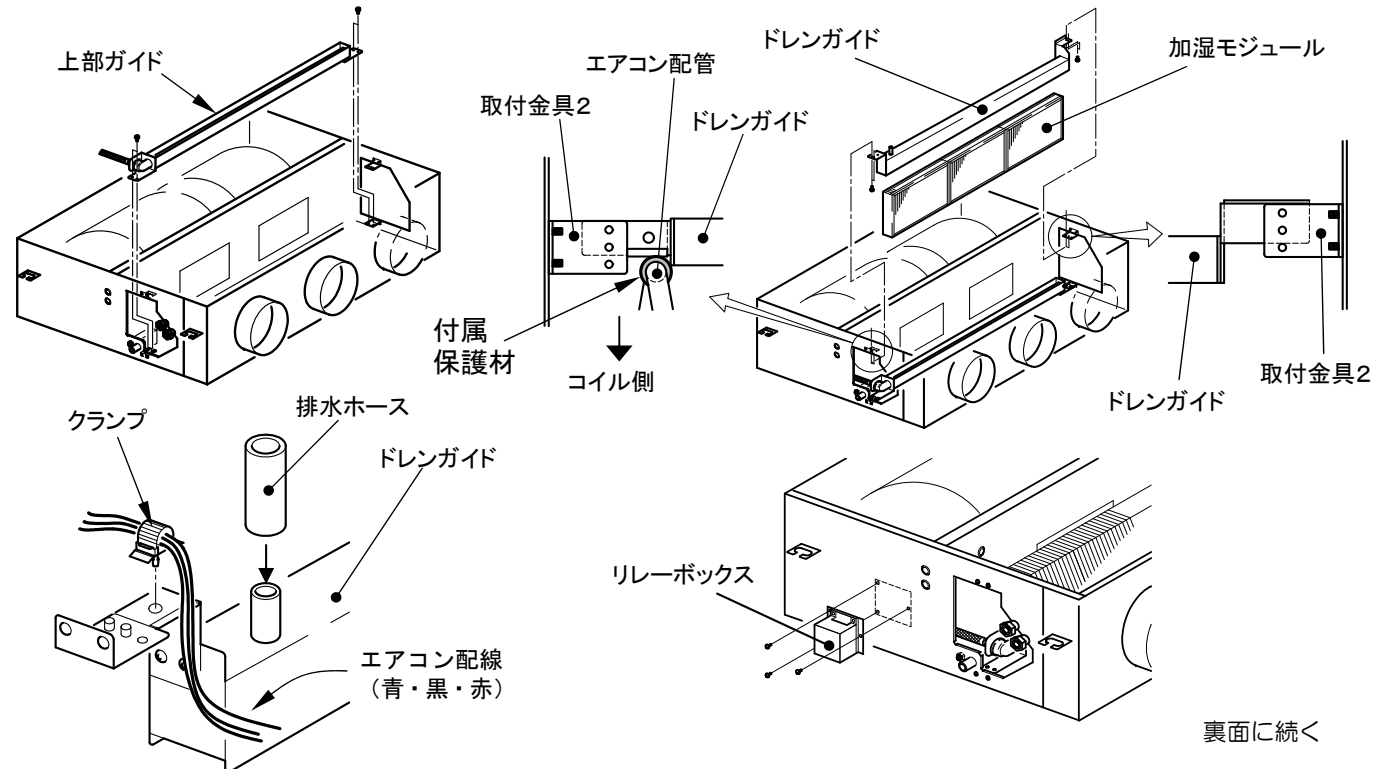
取付手順

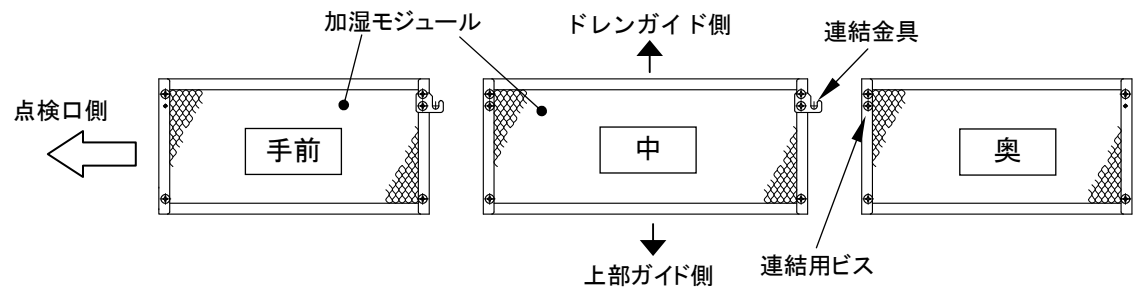
加湿器の組み込みは、必ずエアコン本体を据付ける前に行ってください。

- 加湿器はエアコン本体ドレンパン側から取付けます。
- エアコンのドレンパンを外します。内部にコイルフィンがありますので注意して作業してください。
- エアコン本体側面の給水ユニット用ノックアウト（ $\varnothing 14$ ）をラジオペンチ等で取りはずします。開口部をヤスリ等で仕上げてください。
- 給水ユニットの向きに注意し付属のビス（バインドM3×3ヶ）にて取付けます。
- 給水ユニットに給水ホースを差込み、付属のホースバンドにて固定します。
- 給水ユニットの電源線をエアコンのグロメット穴を通しファンスペース側へ引き出します。
- エアコン内部に、付属の加湿器取付金具1、2を図を参考に付属のビス（トラスM4）にて取付けます。加湿器取付金具1、2の取付け位置を間違えないように注意してください。



- 給水ホースの反対側を加湿器上部ガイドのホース口に差込み、ホースバンドにて固定します。
- 加湿器本体の加湿器上部ガイドを付属のビス（トラスM4）にて加湿器取付金具1に取付けます。
- 加湿モジュールを上下の向きに注意し取付けます。さらに加湿モジュールが複数個ある場合は、裏面の図を参考に加湿モジュールの向きに注意して取り付けてください。また加湿材を破損しないよう取扱には十分注意してください。
- ドレンガイドを加湿モジュールに被るように入れ、加湿器取付金具2に付属のビス（トラスM4）にて取付けます。この時、エアコンの配管がドレンガイドに当たる場合には、付属の保護材を配管に取り付けてください。
- 排水ホースをドレンガイドの排水口に取付け、エアコンの配線（青・黒・赤）を付属のクランプに固定します。
- エアコン本体の側面にリレーボックスを付属のビス（トラス $\varnothing 4$ タッピング×3ヶ）にて取付けます。





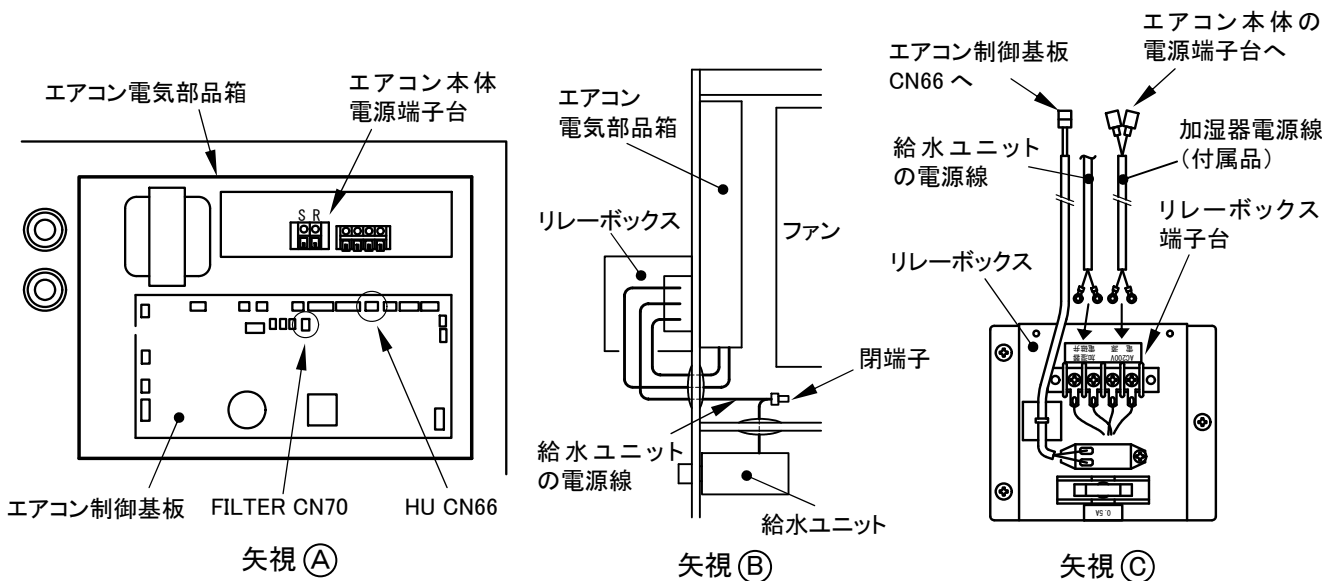
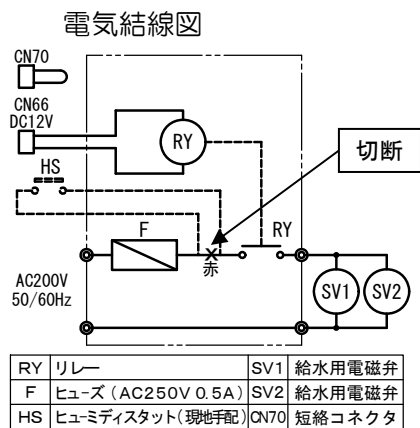
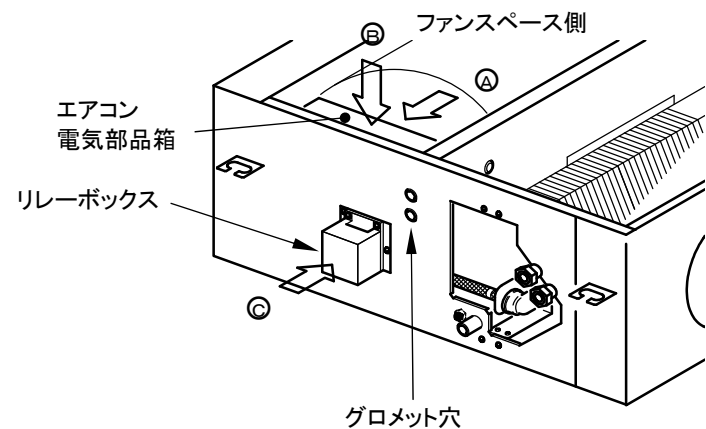
電気配線

1. 給水ユニット（電磁弁）の電源線をエアコン本体のグロメット穴を通しリレーボックスの端子台（4P）『加湿器電磁弁』側に接続します。
必ず閉端子部はファンスペース側に引き回してください。
2. リレーボックスから出ている接続コードをグロメット穴を通しエアコン本体（ファンスペース側）へ引き込み、コネクタ端子をエアコン制御基板上の『HU CN66』（2P）に接続します。
3. 付属の加湿器電源線をリレーボックスの端子台『AC200V 電源』側に接続します。反対側をグロメット穴を通しエアコン本体へ引き込み、エアコン本体の電源端子台（2P）に接続します。
4. 付属の短絡コネクタをエアコン制御基板の『F I L T E R CN70』（2P）に差し込みます。



**短絡コネクタは必ず差し込むこと。
結線しないと暖房運転時にドレンポンプが動作せず、水漏れの原因となります。**

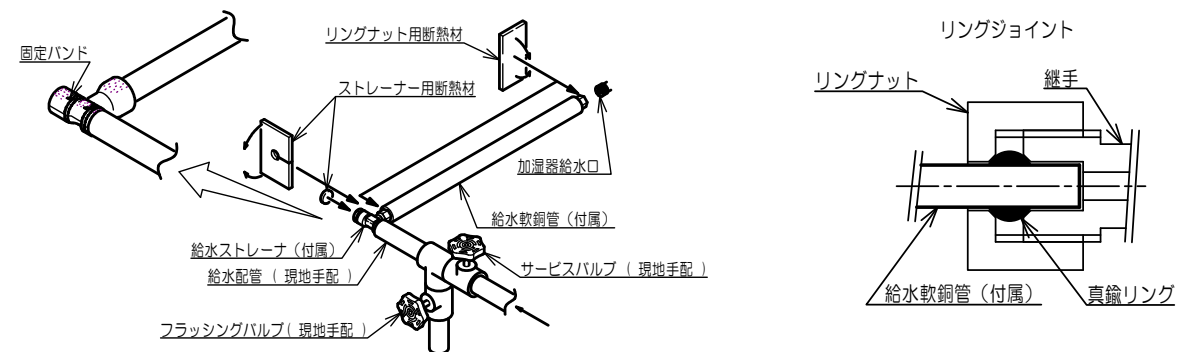
5. ヒューミディスタットをご使用になる場合は、加湿器の電気結線図を参考にリード線（赤）を切断し、付属の閉端接続子にて接続してください。接続部は必ず加湿器リレーボックス内に収納してください。なおヒューミディスタットおよび配線材（0.75mm²以上）は現地手配です。



**電気配線作業は配線材に傷をつけないようにおこなうこと。
配線材に損傷があると、動作不良や発熱・火災の原因となります。**

給水配管

1. エアコンの据付説明書に従ってエアコン本体を据付けてからおこなってください。
2. 現地給水管内の油分・塵埃などを除去するために、配管接続前にバケツなどで水を受けながら、十分なフラッシングをおこなってください。
3. 付属の給水軟銅管内にゴミが入っていないことを確認し、加湿器本体の給水口に給水軟銅管を接続してください。（ダブルスパナ使用・締付けトルク 10～15N・m 程度）
4. 図に従って現地手配の給水配管をしてください。
5. 付属の給水ストレーナ〔接続部は R1/2（1/2 おねじ）〕を現地手配の給水管に接続してください。加湿器と給水ストレーナの接続はリングジョイント式です。図を参照の上接続してください。
6. 水漏れ確認を行ってください。
7. 給水ストレーナに付属の断熱材を取付け、付属のバンドで固定してください。
8. リングナット部に付属の断熱材を貼付けてください。（2ヶ所）
9. 現地手配給水配管にも、断熱処理を行ってください。（断熱材 現地手配）



試運転

- ・元電源を入れてください。
- ・加湿器の給水用サービスバルブを開いてください。
- ・リモコンの運転切換スイッチを暖房にします。
- ・温度設定を希望の温度にします。
- ・ヒューミディスタットを希望の湿度目盛りに合わせます。
- ・運転／停止ボタンを押し、暖房運転・加湿運転を開始します。
- ・ヒューミディスタットの設定を変化させて、給水用電磁弁が作動し正しく加湿制御していることを確認してください。
- ・再び運転／停止ボタンをおすと運転を停止します。



**エアコン設置後は、元電源は入れたままにすること。
万一、給水用電磁弁がゴミかみ等により閉じなくなった場合の漏水を防止します。**